

# 株 主 通 信

2019年6月

## YBHD NEWS No.58

- 第155回 定時株主総会決議ご通知
- 第155期 事業報告書



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第155期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

橋梁事業の事業環境につきましては、今期は新設橋梁のプロジェクトの端境期となるため、厳しい事業環境が予想されておりますが、高速道路の大規模更新・修繕事業や高速道路の4車線化等大型プロジェクトも控えておりますので、今後も一定の発注量が期待できるものと考えております。

システム建築事業につきましては、この4年間で売上高が2倍になるというスピードで成長しており、低価格・短工期・高品質が評価され、シェアアップが確実に進んでおります。しかし、昨年は生産能力を超えた部分の外注費の負担、台風上陸に伴う現場外注費高騰等により採算が悪化し、また、工事件数の急増で工程も混乱しました。そのため、販売価格を見直し、新工場稼働により、利益率の回復と事業拡大を目指してまいります。

その他の事業につきましても、トンネル用セグメントにおいて大型プロジェクトが期待でき、また、都心再開発事業、大阪万博関連等も2020年以降の建設需要を大きく支えてくれるものと考えております。

また、当社グループは、本年2月に2019年度を初年度、2021年度を最終年度とする第5次中期経営計画を発表いたしました。第4次中期経営計画最終年度と比べ、橋梁事業の売上高は微増のなか、システム建築等のエンジニアリング関連事業を伸ばすことにより売上高全体は増加する計画であります。



代表取締役社長

青井 久司

当社は、株主の皆様に対する利益配分を最重要施策の一つとして認識し、業績ならびに今後の事業展開に伴う資金需要などを総合的に勘案のうえ、安定した配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、この基本方針に基づき、1株当たり17円とし、中間配当を含めた年間配当金は1株当たり30円と、前期に比べ8円の増配とさせていただきます。

厳しい事業環境が続きますが、グループ一丸となり、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

## 第155回定時株主総会決議ご通知

2019年6月26日開催の当社第155回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご報告申し上げます。

- 報告事項**
- 第155期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
  - 第155期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

### 決議事項

**第1号議案 剰余金の配当の件**

本件は、原案どおり承認可決されました。  
(期末配当金は1株につき17円と決定いたしました。)

**第2号議案 監査役2名選任の件**

本件は、原案どおり承認可決され、監査役に廣川亮吾、八木和則の2氏が再選され、それぞれ就任いたしました。  
なお、八木和則氏は、社外監査役であります。

以上

本総会終了後開催いたしました監査役会において、荒渡薫、廣川亮吾の2氏が常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。

# 連結財務ハイライト

Financial Highlights

## 橋梁事業

国内新設橋梁・保全工事ともほぼ前期並みの受注量を確保することができ、加えて海外大型工事を受注できたため、橋梁事業全体では過去最高の受注高。

## エンジニアリング 関連事業

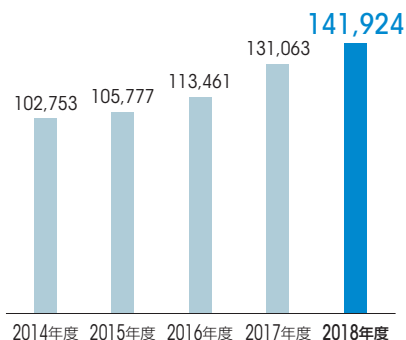
売上高は大幅に増加したものの、営業利益はシステム建築事業の採算悪化により減益。しかし、システム建築事業の受注高は8期連続で増加。

## 先端技術事業

精密機器製造事業の需要が伸び悩んだため、受注高、売上高、営業利益何れも前期比減。

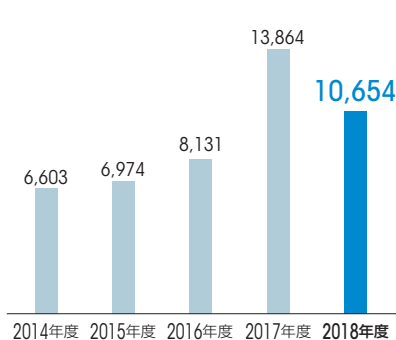
### 売上高

(単位:百万円)



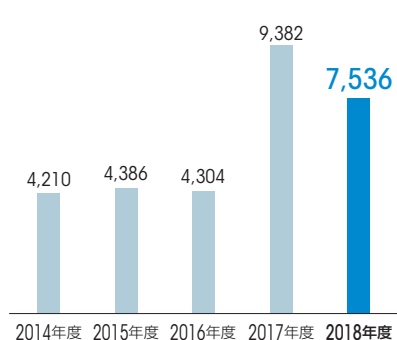
### 経常利益

(単位:百万円)



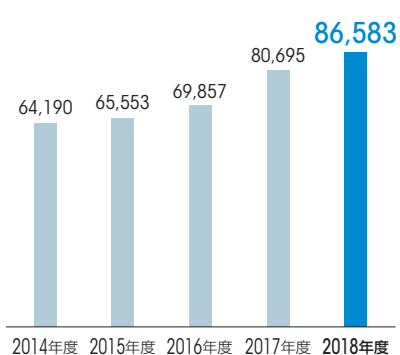
### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



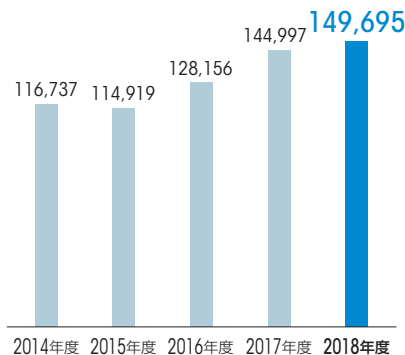
### 純資産

(単位:百万円)



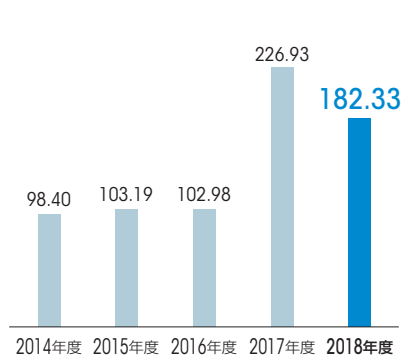
### 総資産

(単位:百万円)



### 1株当たり当期純利益

(単位:円)



# 連結財務諸表

Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

|              | 前 期<br>2018年3月31日現在 | 当 期<br>2019年3月31日現在 |
|--------------|---------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b>  |                     |                     |
| 流動資産         | 92,176              | 94,180              |
| 固定資産         | 52,820              | 55,514              |
| 有形固定資産       | 24,700              | 29,884              |
| 無形固定資産       | 1,140               | 953                 |
| 投資その他の資産     | 26,979              | 24,676              |
| 資産合計         | 144,997             | 149,695             |
| <b>負債の部</b>  |                     |                     |
| 流動負債         | 40,746              | 45,358              |
| 固定負債         | 23,555              | 17,754              |
| 負債合計         | 64,302              | 63,112              |
| <b>純資産の部</b> |                     |                     |
| 株主資本         | 71,385              | 77,924              |
| 資本金          | 9,435               | 9,435               |
| 資本剰余金        | 10,089              | 10,185              |
| 利益剰余金        | 55,537              | 61,997              |
| 自己株式         | △ 3,677             | △ 3,693             |
| その他の包括利益累計額  | 7,421               | 6,341               |
| 非支配株主持分      | 1,888               | 2,317               |
| 純資産合計        | 80,695              | 86,583              |
| 負債純資産合計      | 144,997             | 149,695             |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

|                 | 前 期<br>2017年4月 1 日から<br>2018年3月31日まで | 当 期<br>2018年4月 1 日から<br>2019年3月31日まで |
|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高             | 131,063                              | 141,924                              |
| 売上原価            | 109,024                              | 123,409                              |
| 売上総利益           | 22,039                               | 18,514                               |
| 販売費及び一般管理費      | 8,308                                | 8,005                                |
| 営業利益            | 13,730                               | 10,509                               |
| 営業外収益           | 446                                  | 464                                  |
| 営業外費用           | 313                                  | 320                                  |
| 経常利益            | 13,864                               | 10,654                               |
| 特別利益            | 322                                  | 1,607                                |
| 特別損失            | 141                                  | 861                                  |
| 税金等調整前当期純利益     | 14,045                               | 11,400                               |
| 法人税、住民税及び事業税    | 4,385                                | 3,706                                |
| 法人税等調整額         | △ 68                                 | △ 273                                |
| 当期純利益           | 9,729                                | 7,967                                |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 346                                  | 431                                  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 9,382                                | 7,536                                |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|                     | 前 期<br>2017年4月 1 日から<br>2018年3月31日まで | 当 期<br>2018年4月 1 日から<br>2019年3月31日まで |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 19,252                               | 4,449                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △ 6,624                              | △ 5,845                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △ 5,844                              | 2,580                                |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | △ 6                                  | 6                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 6,776                                | 1,190                                |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 16,447                               | 23,224                               |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 23,224                               | 24,414                               |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 事業の概況

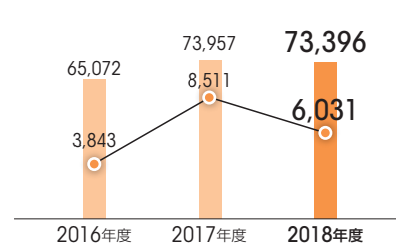
## Business Overview

### 橋梁事業



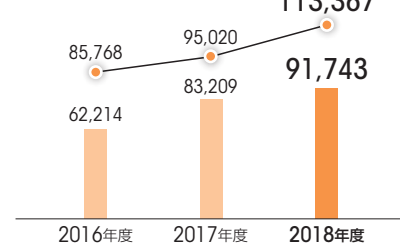
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)



#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



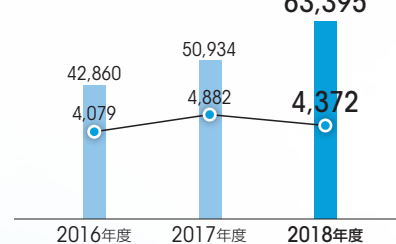
- 国内新設橋梁・保全工事ともほぼ前期並みの受注量を確保することができ、加えて海外大型工事を受注できましたことから、橋梁事業全体の受注高は過去最高となりました。業績につきましては、複数の大型工事の竣工時精算の獲得が重なった前期からは減益となりましたが、全体的な工事採算の改善により過去2番目に高い水準の業績となりました。今後も安全・確実な施工と損益の改善に努めてまいります。
- 来期の業績は、売上高876億円、営業利益67億円と予想しております。

### エンジニアリング 関連事業



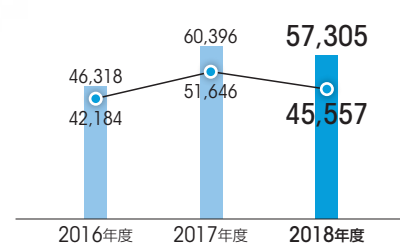
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)



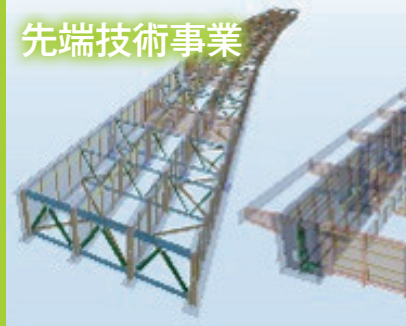
#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



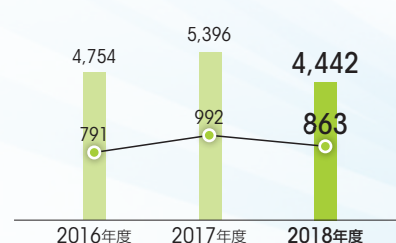
- システム建築事業の受注高は8期連続で増加いたしました。事業全体の受注高は超高層ビル関連等の減少により前期を下回りました。業績につきましては、売上高は大幅に増加いたしました。営業利益は前期比5億円減に止まりました。減益となりました主な要因は、システム建築事業において生産能力を超えた部分の外注費負担の増加と台風上陸に伴う現場外注費高騰などにより、採算が悪化したことによるものです。そのため下期には価格の見直しと受注の抑制を行いました。来期は、価格見直し効果の実現と新工場稼働開始により、利益率の回復と事業拡大を目指してまいります。
- 来期の業績は、売上高610億円、営業利益47億円と予想しております。

### 先端技術事業



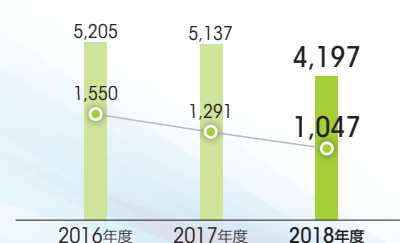
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)



#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



- 精密機器製造事業の需要が伸び悩みましたため、受注高は減少いたしました。業績につきましては、受注の減少により売上高、営業利益は何れも前期を下回りました。
- 来期の業績は、売上高37億円、営業利益6億円と予想しております。

### 不動産事業

- 安定的な収入と利益を確保することができました。
- 来期の業績は、売上高7億円、営業利益4億円と予想しております。

# 第5次中期経営計画の紹介

当社グループは、2019年度を初年度とする第5次中期経営計画(2019年度から2021年度まで)を策定いたしました。

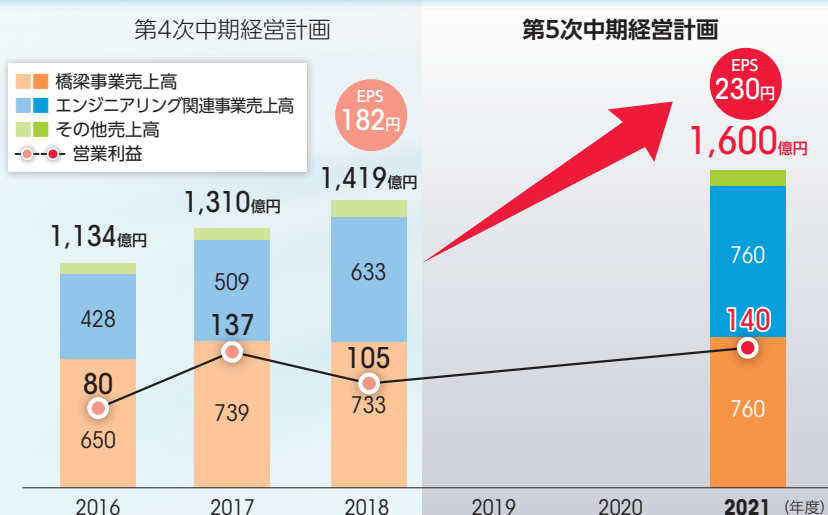
## 長期的な経営ビジョン

当社グループは、「社会公共への奉仕と健全経営」を企業理念として掲げ、「長期的な橋守り」、「多角的な鋼構造エンジニアリング」、「強固な経営基盤の構築」の実現と持続的な拡大を目指しております。

## 基本方針

- 1 保全事業への対応強化で、新設と合わせた橋梁事業の維持拡大と最適化を図る
- 2 システム建築事業の更なる拡大のため2工場体制の確立と損益管理体制の強化を図る
- 3 トンネルセグメントに代表される土木鋼構造エンジニアリング事業を成長させる
- 4 海外橋梁、アルミ製品、精密機器製造事業についてもそれぞれ拡大を図る

## 数値目標(2021年度)



### 売上高

1,600億円

### 営業利益

140億円

### 1株当たり当期純利益

230円/株

## 主要事業の経営戦略

### 1 橋梁事業

大規模更新・修繕工事への取り組みを強化

技術者、機材、施工能力などの経営資源を  
一体で管理し、配分の最適化を追求

海外事業はODA案件の更なる受注拡大を目指す

アルミ製品(検査路、常設作業パネルなど)の  
営業活動をさらに拡大

### 2 エンジニアリング関連事業

#### システム建築事業

2019年8月完成予定の新工場  
(千葉県茂原市)の稼働を軌道に乗せ、  
合わせて損益管理体制も強化

#### 土木関連事業

地下構造物であるトンネルセグメントに加え、  
防災・減災向け海洋構造物等の  
需要取り込みにも注力

## 資本政策と株主還元

資本政策の基本方針は従前のおり「財務の健全性と資本の効率性の両立」とします。この基本方針により、株主還元策も「安定配当と機動的な自己株式の取得」を継続しますが、同時に第5次中期経営計画期間における目標数値(下限値)を以下のとおり設定します。

財務の健全性 | 自己資本比率 **50%以上**

資本の効率性 | R O E **8%以上**

株主還元 | 配当性向 **15%以上**

## 持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

当社グループは、「社会公共への奉仕と健全経営」の企業理念のもと、橋梁や建築物等の建設に携わり、良質で安全な社会インフラの整備を通じて社会に貢献してまいりました。今後も、持続可能な社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってまいります。





完成予想図



ミャンマー連邦共和国  
**バゴ橋建設工事契約調印**

**工事全長** 約3.6km (うち当JV 施工区間約2.7km) **主橋部** 全長2,031m、全幅20.7m(斜張橋部22.9m)、4車線

株式会社横河ブリッジは、三井住友建設株式会社との共同企業体(JV)により、ミャンマー連邦共和国(以下ミャンマー)において、ヤンゴン市中心部とタンリン地区とを結ぶバゴ橋の建設工事を受注し、2019年3月12日に首都ネピドーにおいて契約調印式を執り行いました。

本工事は、ヤンゴン市中心部とティラワ経済特別区を含むタンリン地区とを結ぶ道路網整備の一環として、バゴ川を渡河する

新たな橋梁(全長約3.6kmのうち当JV施工区間約2.7km)を整備するもので、日本の政府開発援助(ODA)により建設されます。当社は、斜張橋を含む鋼橋上部工の施工を担当いたします。

ミャンマーは、2011年に民主化が果たされ、市場開放および外資導入による経済成長を強力に推進しており、発展の土台となるインフラ・社会基盤整備が重要課題となっています。本橋の整備は、ヤンゴン市タンリン地区への円滑な交通・物流網の整備・増強を図り、日本・ミャンマー両国が官民一体となってすすめているティラワ経済特別区への直接投資の増加およびミャンマー全体の経済発展に寄与することが期待されています。

今後も東南アジアを中心に数多くの橋梁の建設に携わり、良質で安全な社会インフラの整備を通じて当該諸国の発展に貢献してまいります。



ネピドーでの調印式(ハンソウ大臣 右から10人目、馬場常務 左から7人目)



ミャンマーの建設副大臣も出席されました

会社概要

|      |  |
|------|--|
| 社名   | 株式会社横河ブリッジホールディングス                                   |
| 所在地  | 〒108-0023<br>東京都港区芝浦四丁目4番44号<br>TEL:03-3453-4111(代表) |
| 資本金  | 9,435百万円   |
| 主な機能 | 経営戦略、法務・監査、経理・財務<br>総務・人事、IR・広報、技術研究開発               |

役員一覧 (2019年6月26日現在)

|         |                |
|---------|----------------|
| 代表取締役社長 | 藤井 久司          |
| 代表取締役常務 | 高木 清次          |
| 取締役     | 宮本 英典          |
| 取締役     | 高田 和彦          |
| 取締役     | 大島 輝彦          |
| 取締役     | 小林 明           |
| 取締役     | 北田 幹直 (社外取締役)  |
| 取締役     | 亀井 泰憲 (社外取締役)  |
| 常勤監査役   | 荒渡 薫           |
| 常勤監査役   | 廣川 亮吾          |
| 監査役     | 志々目 昌史 (社外監査役) |
| 監査役     | 八木 和則 (社外監査役)  |
| 監査役     | 西山 重良 (社外監査役)  |

株式の状況

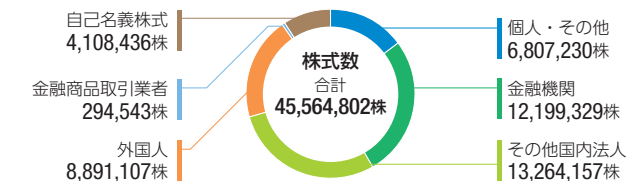
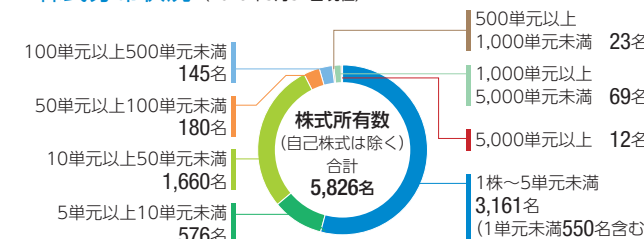
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 180,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 45,564,802株  |
| 株主数      | 5,827名       |

大株主 (上位10名)

| 株主名   | 所有株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|----------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)  | 2,748    | 6.62    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)  | 2,254    | 5.43    |
| 横河電機(株)   | 2,234    | 5.39    |
| 日本製鉄(株)   | 1,987    | 4.79    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)   | 1,725    | 4.16    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)   | 720      | 1.73    |
| 住友不動産(株)  | 674      | 1.62    |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103  | 671      | 1.61    |
| BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST (UK)LIMITED FOR SMT TRUSTEES (IRELAND)LIMITED FOR JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC | 648      | 1.56    |
| 横河ブリッジホールディングス従業員持株会  | 547      | 1.32    |

(注) 1. 当社は、自己株式を4,108,436株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (2019年3月31日現在)



## 株主メモ

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 事業年度                      | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 配当金<br>交付株主確定日            | 毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、<br>毎年9月30日  |
| 定時株主総会                    | 毎年6月下旬   |
| 単元株式数                     | 100株   |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233<br>三井住友信託銀行株式会社                                  |
| 郵便物送付先<br>電話お問い合わせ先       | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| 公告方法                      | 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。     |
| 公告掲載URL                   | <a href="http://www.ybhd.co.jp/">http://www.ybhd.co.jp/</a>                  |



表紙の写真

### 阪神高速大和川線 三宝ジャンクション

所在地:大阪府堺市堺区築港八幡町付近  
鋼重:3,751.5t(当社グループ施工分)  
型式:鋼橋15連(鋼床版桁、RC床版桁)、  
鋼製 橋脚改築2基、複合橋脚7基

大阪都心南部を東西に結ぶ新ルートである大和川線と既設の湾岸線を結ぶジャンクションであり、景観や周辺部の地域性に配慮した設計となっています。  
2018年度の土木学会デザイン賞優秀賞を受賞しています。  
(写真提供:阪神高速道路株)

## YBHDグループ



**株式会社 横河ブリッジホールディングス**  
グループ全体の経営管理



**株式会社 横河ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



**株式会社 横河システム建築**  
システム建築・開閉式建築システム・環境



**株式会社 横河NSエンジニアリング**  
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



**株式会社 橋崎製作所**  
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



**株式会社 横河技術情報**  
情報処理サービス・ソフトウェア開発



**株式会社 横河ニューライフ**  
不動産管理・情報システム・人材派遣



**株式会社 ワイシーイー**  
橋梁等構造物の総合エンジニアリング



**Yokogawa Techno Philippines, Inc.**



**株式会社 横河ブリッジホールディングス**

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号  
TEL. 03-3453-4111 (代表) <http://www.ybhd.co.jp/>

